

事業所名 ふれ愛グループ にこにこらびット

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			定員に達するスペースは適正ではありますが、高学年以上のお子さんにとっては少し窮屈なのかもしれません。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準は適正ですが、支援の充実の為、増員を検討しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			玄関前にはスロープがあり、室内も身障者用のトイレが設置されていますが、大人用のトイレの為、足台や補助便座を使用しています。また、事業所前は坂になっているので、送迎の際の乗り降りの際はケガのないように注意をしています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			役職者が中心となり業務改善を図っています。目標設定や振り返りについては、職員の意見や思いなど意見交換を行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表の記載をお願いしています。保護者からの意見等に対しては、職員間で共有し、改善していけるように努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	実施していません。今後の検討課題となっています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		年に数回、内部研修を実施しています。外部研修も参加しているのですが、ここ数年は感染症の状況や研修の時間帯の調整がつかず参加することが出来ていません。
適切な 支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			独自のアセスメントツールを使用しています。関係機関からの情報や保護者の要望等を聞き取り、より適切かつ客観的に実施できるように書式等の見直しなどを検討していきます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を因るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		独自のアセスメントツールを使用している
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		児童発達支援管理責任者が中心となり立案しています。立案過程で職員間で子どもの状態について意見交換、把握をしながら設定しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			1週間の中で活動が重ならないようにしています。又、得意、不得意を把握し、経験のある活動内容を中心に少しずつルールや使用する道具を変えるなど、取り組みに不安を抱かないようしています。日によっては、お子様の意見を取り入れ、活動内容を変更するなど、柔軟に対応しながら取り組んでいます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		学校のある日は、活動時間に限りがある為、休日や長期休暇期間には、落ち着いた取り組みる制作活動やお子様 の要望の中で、時間をかけて取り組めるものを設定しています。現在、中止していますが、コロナの状況が落ち着いた際には、外活動(外出行事)を再開したいと考えています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		事業所到着時間を考えると、中々、個別活動の時間を作ることが難しい状況です。ただ、個別課題として、生活面に重点を置いた個々の取り組みは、保護者の方とも相談しながら取り組んでいます。また、学習への取り組み時間は設定しています。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			活動プログラムの中で、日々の担当を振り分けています。支援当日にも役割や内容についても再確認しています。	

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			個々の支援については、その都度、職員間で情報共有しています。日々の振り返りも含め、1週間ごとに振り返りに時間を作っています。又、朝礼や職員会議を通し、状況把握、確認を行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々、支援の記録をとっています。又、1週間ごとに、個別活動プログラムの反省評価を行い、月末に、1か月間全体の反省評価を実施しながら、支援の見直し等に役立っています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			アセスメント、モニタリング、活動プログラムの反省評価を実施しながら計画の見直しを実施しています。必要な際には、学校や相談室と情報交換をしながら取り組んでいます。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		日常生活の充実の為に活動や創作、余暇活動などお子様の様子や意見を聞きながら支援を行っています。
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が参画しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者から連絡が主ですが、学校のホームページや場合によって電話連絡や送迎の際に、学校の方へ、事前確認をしています。また、学校からの配布資料を確認し、不備がないようにしています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在、医療的ケアが必要な児童はいません。看護職員を配置していないため、現状は受け入れる事はできません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			保護者の方を中心に情報共有、相互理解できるように努めています。必要な際には、幼稚園や保育園、認定こども園、相談室など関係機関と情報共有をしています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			必要な際には提供しています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	児童発達支援センターの研修や地域マネジメント事業による訪問にて助言を受けるなど関係性を築けるようにしていたが、感染予防の為、研修へは参加しておらず、事業所訪問は電話での情報交換に留まっています。また、児童発達支援センター主催の動画配信を使用し、内部研修を実施しています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	実施していません。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	交流会に参加したことはあるが、今年度は参加していない。今後、積極的に参加し、協力体制を築いていく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や連絡帳、モニタリング時期に計画内容や現状把握、課題について情報共有を行っています。必要な際は、電話連絡にて相談や共通理解を深められるように努めています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	まだまだ知識が足りないと感じています。研修等に参加し、知識を深め、保護者の方の力に慣れるよう務めていく必要がある。

保護者への説明責任等	⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明をしています。随時、質問がある際には、早急に返答出来るように努めています。
	⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		必要に応じ行っていますが、十分な助言等の支援ができていないと思っています。保護者との関係を築きながら力になれるよう努めています。
	⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	実施していない。今後の検討課題となっています。
	⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			契約時に重要事項説明書を用いて体制や仕組みについて説明をしています。苦情があった際には、迅速に対応し、職員間共有を図り、改善に繋げています。
	⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			3か月に1度発行をしています。行事については現在中止をしていますが、再開の目途がたった際にはお便りの発行をしていきます。また、連絡体制など、施設概要について記載していく事が必要。
	⑮	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報が入ったファイルは鍵付きの書庫に保管しています。個人情報の取り扱いに関し、職員への周知徹底をしています。
	⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			児童へは分かりやすい声掛けや視覚支援を取り入れています。保護者の方への情報伝達は誤解や伝え漏れがないように努めています。
	⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	避難訓練の際には、町内会の方が参加して下さいますが、現在は、感染予防の為、案内の配布を中止しています。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	各マニュアルは策定していますが、その都度、見直し、更新を行いながら実用性に繋がるようにしていく必要がある。保護者の方への周知方法は不十分であると感じています。周知方法については今後の検討課題となっています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	火災想定避難訓練は年2回必ず実施しています。災害訓練はマニュアルは策定していますが訓練については未実施。
	㉒	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年2回内部研修を行っている。又、毎月、振り返りシートを用いて、職員個々の虐待防止・啓発に努めている。
	㉓	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	対象となる児童はいない。虐待研修の中で、身体拘束については確認、周知している。
	㉔	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食物アレルギーについては保護者より情報を得ています。医師の指示書を用いた事はありません。
㉕	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	内容によっては、書面を用いて情報共有、検証を行っているが、ほとんどが口頭での情報共有となっている。ヒヤリハットに関しては情報共有や検証以外にも予防としての取り組みをしていく必要がある。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

